株主メモ

事業年度	毎年3月21日から翌年3月20日まで
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月20日 期末配当金　毎年3月20日 中間配当金　毎年9月20日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	0120-782-031（フリーダイヤル）
URL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社の公告方法は電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.alinco.co.jp （ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。）

当社のホームページでは、企業情報、財務情報など様々な情報をご覧いただけます。最新ニュースを随時更新し、当社の事業状況を紹介しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

URL http://www.alinco.co.jp

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の「特別口座について」をご確認ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。左記お問い合わせ先にお願いいたします。

この印刷物は、植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

証券コード:5933

ALINCO REPORT

第47期年次報告書

平成28年3月21日 → 平成29年3月20日

ニッチマーケットでトップ企業に

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第47期（平成29年3月期）の業績と今後の見通しについてご報告申し上げます。

代表取締役会長 井上 雄策

当期の事業環境

当期のわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景にゆるやかな回復が見られたものの、新興国経済が減速するなか、英国のEU離脱問題や米国大統領選挙後の施政方針への懸念などによって、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界を取り巻く環境については、前半は設備投資の伸び悩みなど国内経済の足踏み状態の影響を受ける展開となりましたが、後半からは社会インフラの改修整備に対する需要や民間住宅投資の回復を背景に堅調に推移しております。

業績のポイント

売上高は前期比1.8％増の445億91百万円となりました。利益面では、営業利益が前期比8.6％減の29億13百万円、経常利益が前期比32.8％減の24億59百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比29.3％減の16億25百万円となりました。売上高は堅調に推移しましたが、営業利益は販売費及び一般管理費の増加によって減少しました。経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益は、東南アジア経済停滞の影響を受けた海外のグループ会社について、持分法による投資損失と固定資産の減損損失を計上したことなどにより減少しました。なお、特別利益に保有株式の売却益を計上しております。

当期の業績（平成29年3月期）		
	売上高	445億91百万円
	営業利益	29億13百万円
	経常利益	24億59百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	16億25百万円

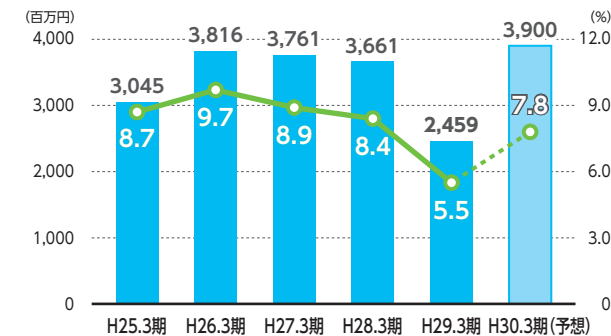
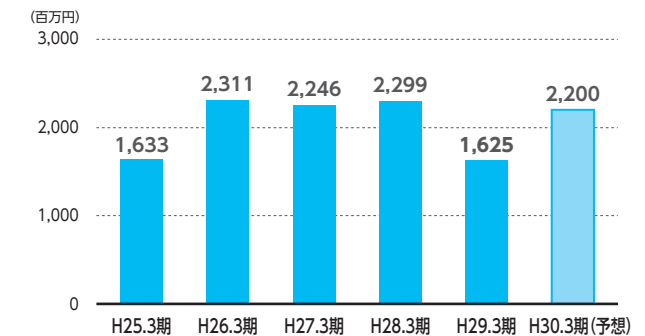
代表取締役社長 小山 勝弘

売上高

(百万円)

H25.3期	H26.3期	H27.3期	H28.3期	H29.3期	H30.3期(予想)
35,017	39,333	42,243	43,818	44,591	50,000

営業利益

経常利益・経常利益率

親会社株主に帰属する当期純利益

設備投資の状況

当期中に実施いたしました設備投資の総額は29億28百万円で、その主なものはレンタル資産の取得21億86百万円であります。

今後のポイント

当社グループは、建設機材ならびにレンタル関連事業においては、安全性と軽量化を同時に実現し、作業効率にも優れた新型足場「アルバトロス」の普及と関連機材の開発を引き続き強化してまいります。住宅機器関連事業においては、インターネット通販市場の拡大に応じた販路拡大と新製品供給を、電子機器関連事業においては、デジタル簡易無線をはじめとした新製品群の拡販を進めてまいります。また、当社グループに加わった双福鋼器㈱は当社グループとのシナジー効果を高め、新たな事業分野の強化を図ってまいります。

今後の事業環境

今後の経済見通しについては、企業収益の回復を受けて設備投資や民間消費は持ち直していくことが予想されますが、欧米の政治リスクや新興国経済の成長停滞などによって先行き不透明な状況は続くものと思われます。しかしながら、当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界は、首都圏での大型建築工事の本格化や東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設需要の増加も予想され、中期的に堅調な推移をたどると想定しております。

次期の業績予想（平成30年3月期）		
	売上高	500億円
	営業利益	35億円
	経常利益	39億円
	親会社株主に帰属する当期純利益	22億円

配当方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けております。剰余金の配当につきましては、安定的な配当の維持を基本方針とし、連結配当性向30％以上を目安として配当を実施してまいります。

内部留保金につきましては、中国・東南アジアへの海外投資や今後成長が見込める事業分野に積極的に投資を行い更なる企業価値の向上を図るとともに、競争優位性の維持に必要な財務基盤の安定にも配慮してまいります。

これらの方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、１株当たり18円とさせていただきました。既に平成28年11月22日実施済みの中間配当金１株当たり18円と合わせまして、年間配当金は１株当たり36円となります。

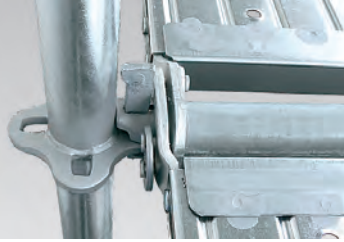
また、次期の配当金予想額につきましては、前期比１円増の年間37円（中間配当金18円、期末配当金19円）を予定しております。

中長期の課題

当社グループは従来から「ニッチマーケットでトップ企業に」を経営方針として事業の多角化に取り組み、それぞれの事業部門ごとに業界のトップポジションを意識しながら、収益力の強化を図り環境変化に柔軟な企業体質作りを目指してまいりました。近年は市場の規模や成熟度に関わらず多様化・細分化が進んでおり、変化のスピードも速いためビジネスチャンスは拡大しているものと考えております。このような状況のなかで、当社は次なる成長に向け、中長期的に次のような課題にスピード感を持って取り組んでまいります。

① 独創性の高い商品の市場シェア拡大

当社グループの市場におけるポジションと技術力、様々な現場から寄せられるユーザーのニーズを活かして、競争持続性に優れた独自商品の開発に努め、成長分野の発掘に取り組んでまいります。とりわけ当社が開発した新型足場「アルバトロス」は、安全性と軽量化を同時に実現し、作業効率にも優れております。既存の枠組足場を超える機材として、市場シェアの拡大を図ってまいります。

新型足場"アルバトロス"

※アルバトロスの詳細はP7の建設機材関連事業をご覧ください。

② 事業シナジーの創出

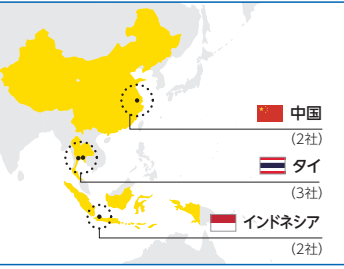
当社は競争優位性の更なる拡大と持続性の強化を目指して、ここ数年、M＆Aを展開してまいりました。その結果、㈱シィップやエス・ティ・エス㈱、さらには平成29年３月31日付けで双福鋼器㈱を当社グループに相次いで迎えております。各社ともそれぞれの事業領域において高い優位性を誇る製品や事業ノウハウを有しており、当社の既存事業とのシナジーが期待できるものであります。今後は相互の潜在的な経営資源を引き出して当社グループの事業基盤の拡充を図り、業績や企業価値の向上につなげてまいります。

㈱シィップ
据置式昇降台の製造・販売及びレンタル

エス・ティ・エス㈱
測量機器・レーザー機器等の企画開発・製造ならびに販売

双福鋼器㈱
物流保管設備機器（ラック）・鋼製床材の製造、販売

③ 海外市場におけるビジネスモデルの確立

当社グループは、中華人民共和国及びタイ王国に仮設機材の販売・レンタルと製造機能の拠点を、またインドネシア共和国では仮設機材の販売・レンタル機能の拠点を展開し、海外における仮設機材ビジネスを積極的に推進しております。これらの国々における仮設機材のマーケットは、標準化された製品安全規格や機材運用ルールが総じて未整備・未成熟な状況にあります。当社は従来から培ったシステム足場の製品技術や機材運用のノウハウを、現地の状況に応じていち早く浸透を図ることで、建設作業における安全の高度化に貢献し、海外市場におけるビジネスモデルの確立を目指してまいります。

双福鋼器株式会社子会社化

当社は、平成29年３月31日付けで、双福鋼器株式会社の株式85,680株（持株比率51％）を住友商事株式会社より取得し、子会社といたしました。

同社は、物流倉庫向けの物流保管設備機器（スチールラック）や鋼製床材などの建材製品の製造、販売企業であり、物流保管システムの効率化・高度化を目指し、耐震対応まで含め、商品企画・システム設計・品質管理にいたるまで、顧客からの幅広いニーズに応えられるサービスを提供しております。

今回の子会社化により、当社グループの事業に新たな事業分野が加わることとなり、当社グループ全体にとっては、事業基盤の拡充によって幅広い分野においてシナジー効果が見込まれ、今後の業績や企業価値の向上に寄与するものと考えております。

会社概要

会社名	双福鋼器株式会社
本社所在地	三重県伊賀市治田字鳥屋ヶ尾2506番地の23
資本金	84百万円
売上高	3,716百万円 (平成28年３月期)
主な取扱い製品	倉庫・事業所用各種保管棚（軽量・軽中量・中量・パレットラック）中・高層ラック、移動ラック、自動倉庫ラック、積層棚、特殊軽量形鋼、パワーフロアー（スタンダード・スーパーC）

株式会社シィップ新工場建設、本社移転

子会社である株式会社シィップにおいては、既存取引先に加えて当社の販路を活用した販売数増加への対応のための生産能力拡大と、生産と管理の機能を集約し効率化を図るために新本社事務所及び新工場兼倉庫を建築し、4月3日より稼働しております。

新工場は延べ床面積が2.3倍になったことで作業性が向上し原価低減が図れるとともに、大幅に生産能力が上昇すると見込んでおります。

新工場兼倉庫の概要

	新工場兼倉庫
所在地	新潟市秋葉区七日町1050－1
土地	4,650.94㎡
工場	1,482.10㎡
事務所	281.86㎡

新製品 本体に乗るだけの簡単トレーニングバランス感覚向上で転倒防止にも『３Ｄ振動マシン バランスウェーブ』

『３Ｄ振動マシン バランスウェーブ』は、上下、左右に振動する“立体的な３Ｄ振動マシン”です。本体に乗るだけで、誰にでも簡単にトレーニングが行えます。既存の上下運動に両サイドに動く、左右の運動を組み合わせることで、背中、下半身の筋肉、インナーマッスルを同時にバランスよく鍛えることができます。

３種類のトレーニングコースが選べますので振動速度を自由に変更できます。男性向け、女性向け、ご年配向けと様々な方にも楽しんでいただけるようなコース設定をしております。

本体に乗るだけの『３Ｄ振動マシン バランスウェーブ』は、運動嫌いの方から高齢者の方まで誰にでも手軽に“３Ｄ振動エクササイズ”が始められます。また、効率よく同時に全身を刺激しますので、忙しくて運動不足の方にもおすすめです。

新製品 特定小電力トランシーバーDJ-R200D

DJ-R200Dは設定内容を日本語で伝える音声ガイダンス、各種アラームに応用できるショック＆温度センサーなど新たな機能をタフなIP67耐塵、防浸ボディに満載しました。

さらに着信バイブレーター、選べるアンテナサイズ、イヤホン断線検知、ACアダプターやシガーケーブルが使える外部電源端子、50項目を超えるカスタマイズ（セットモード）項目を採用、最上のスペックに仕上げております。

建設機材関連事業

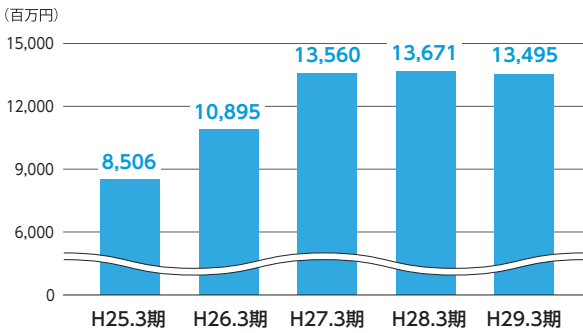
中高層建築現場で使用される仮設機材を通じて「効率」と「安全」を提供

複雑・多様化する建設現場において、作業者の安全と作業性をサポートする機材を取り揃え、様々なニーズに最適な製品を提供しております。

第47期の業績

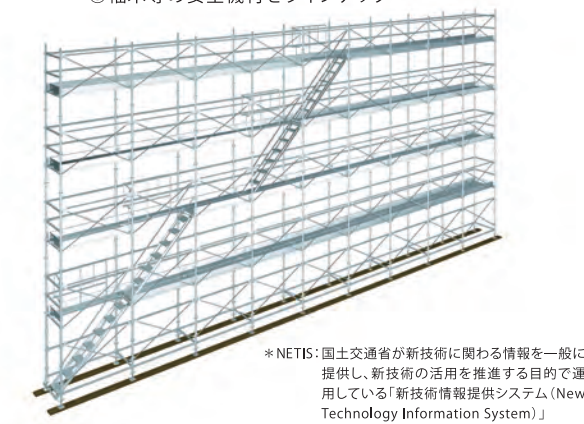
当事業の売上高は、前期比1.3％減の134億95百万円となりました。社会インフラの改修整備や耐震・リフォーム工事などの需要は堅調に推移しておりますが、期初に生じたレンタル会社の購買意欲の足踏み感の影響で売上高が伸び悩みました。

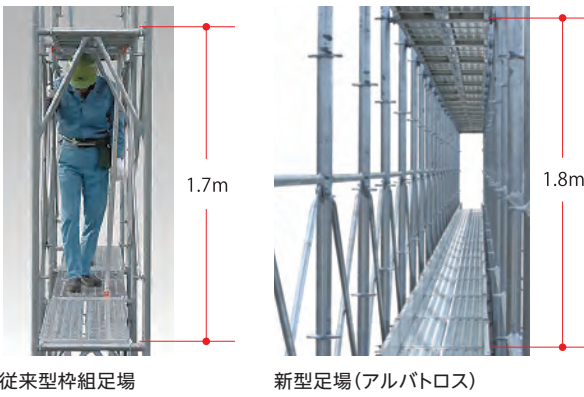
損益面では、売上高の減少を売上総利益率の改善によって補い、セグメント利益が前期比0.6％増の17億17百万円となりました。

売上高

■新型足場（商標名 アルバトロス）

仮設工業会認定・承認品　NETIS*登録（KK-150002-A）

安全性　◎手すり先行工法を実現
　　　　◎幅木等の安全機材をラインナップ

＊NETIS：国土交通省が新技術に関わる情報を一般に提供し、新技術の活用を推進する目的で運用している「新技術情報提供システム（New Technology Information System）」

作業性　◎1ユニット作業高1.7mから1.8mに改善
　　　　◎広い作業スペースの快適空間を提供
　　　　（内側に補剛材が出っ張らない支柱）
　　　　◎支柱・布材がコンパクトで軽量

従来型枠組足場　　新型足場（アルバトロス）

レンタル関連事業

独自のオクトシステムで住宅足場のシェアNo.1

低・中層建築向けに、当社独自開発のくさび緊結式足場（オクトシステム）の運搬・組立・解体までを一括して請け負うサービスを提供しております。

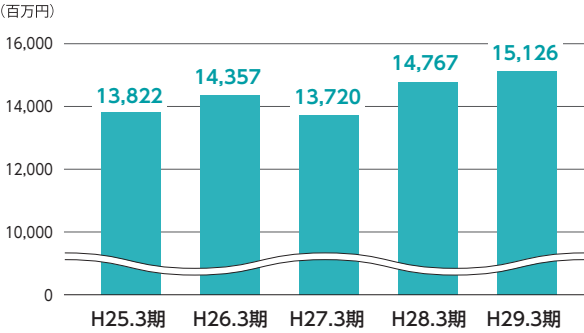
新オクトシステムの投入

従来のオクトシステム足場を改良し、支柱・布材をコンパクトかつ軽量化した新オクトシステム（新型足場の一種）を順次レンタル投入しております。新オクトシステムを使用することで作業効率の向上、施工作業員の負担軽減となり全社的な施工能力向上を図ってまいります。

第47期の業績

当事業の売上高は、前期比2.4％増の151億26百万円となりました。中高層レンタル部門において機材稼働率が好調に推移したほか、低層用レンタル部門も金利低下による住宅取得環境の改善を背景に堅調に推移しました。

損益面では、今後の需要増に対応すべく積極的なレンタル資産への投資を行ったことによる減価償却費の増加や同業者間の受注競争の激化などにより売上総利益率が低下した結果、セグメント利益が前期比63.0％減の２億63百万円となりました。

売上高

低層住宅向仮設足場（オクトシステム）

中・高層用仮設足場

住宅機器関連事業

くらしを創るプロのために「安全・快適・便利」を提供

工場や建築現場から家庭まで、幅広く作業する現場で必要とされる昇降器具、アルミ製梯子、脚立、三脚をはじめ関連製品などを販売しております。

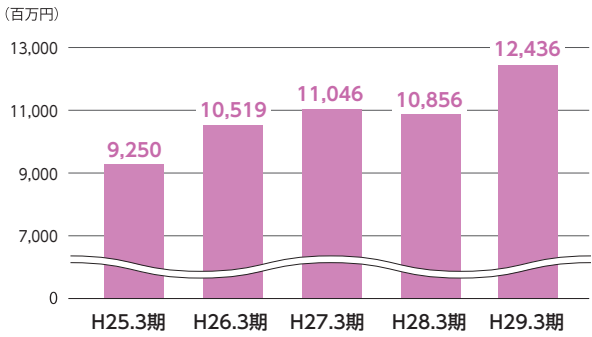
健康から癒しへ現代人をサポート

家庭で手軽に出来るエクササイズの運動器具を開発提供しております。

第47期の業績

当事業の売上高は、前期比14.6％増の124億36百万円となりました。フィットネス関連の販売が好調であったほか、アルミ製品の販売も機械工具ルートなどを中心に増加しました。

損益面では、上半期の急速な円高の進展によって為替予約のヘッジ効果が減少したものの、売上高の増加によってセグメント利益が前期比7.9％増の６億10百万円となりました。

売上高

アルミ製脚立

玄米氷温貯蔵庫

ウォーカー

フィットネスバイク

電子機器関連事業

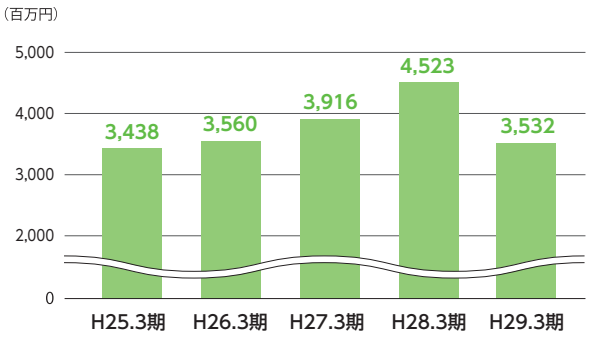
独自の先端技術で開発された グローバルブランド「ALINCO」

アマチュア無線機などホビーユーザー向けから業務用無線機、デジタル無線機など高い品質と技術が求められる分野まで、多彩な製品群で常に最新のコミュニケーションツールを提案しております。

第47期の業績

当事業の売上高は、前期比21.9％減の35億32百万円となりました。消防無線のデジタル化が平成28年５月に期限を迎え、デジタル消防無線機関連の販売が減少したことによるものです。

損益面では、売上高の減少によりセグメント利益が前期比83.6％減の１億13百万円となりました。

売上高

デジタル簡易無線機

特定小電力無線機

アマチュア無線用車載無線機

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 平成28年3月20日現在	当期 平成29年3月20日現在
(資産の部)		
流動資産	27,228	28,638
現金及び預金	5,396	6,316
受取手形及び売掛金	12,216	12,860
商品及び製品	5,966	5,933
仕掛品	660	744
原材料	1,590	1,739
繰延税金資産	469	266
その他	932	785
貸倒引当金	△ 4	△ 9
固定資産	17,849	17,793
有形固定資産	11,310	12,116
レンタル資産	3,327	3,855
建物及び構築物	3,513	3,462
機械装置及び運搬具	1,172	835
土地	2,971	3,522
その他	356	576
減損損失累計額	△ 31	△ 136
無形固定資産	197	421
投資その他の資産	6,340	5,255
1 投資有価証券	3,521	1,565
長期貸付金	11	631
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	1,750	1,938
繰延税金資産	20	27
その他	1,039	1,096
貸倒引当金	△ 3	△ 3
資産合計	45,077	46,431

科目	前期 平成28年3月20日現在	当期 平成29年3月20日現在
(負債の部)		
流動負債	13,832	14,475
支払手形及び買掛金	7,422	7,334
短期借入金	3,854	4,430
未払法人税等	527	731
賞与引当金	619	629
リコール損失引当金	16	9
その他	1,392	1,340
固定負債	7,431	7,130
長期借入金	6,172	5,761
退職給付に係る負債	112	103
役員退職慰労引当金	200	198
関係会社事業損失引当金	137	137
繰延税金負債	493	614
その他	314	315
負債合計	21,264	21,606
(純資産の部)		
株主資本	22,973	23,643
資本金	6,361	6,361
資本剰余金	4,812	4,812
利益剰余金	11,971	12,641
自己株式	△ 172	△ 172
その他の包括利益累計額	730	1,164
その他有価証券評価差額金	202	524
繰延ヘッジ損益	△ 254	156
為替換算調整勘定	611	316
退職給付に係る調整累計額	170	166
非支配株主持分	109	18
純資産合計	23,813	24,825
負債純資産合計	45,077	46,431

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 平成27年3月21日から 平成28年3月20日まで	当期 平成28年3月21日から 平成29年3月20日まで
売上高	43,818	44,591
売上原価	31,369	31,841
売上総利益	12,449	12,750
販売費及び一般管理費	9,260	9,836
営業利益	3,189	2,913
2 営業外収益	579	238
2 3 営業外費用	107	692
経常利益	3,661	2,459
4 特別利益	3	732
5 特別損失	49	399
税金等調整前当期純利益	3,615	2,793
法人税、住民税及び事業税	1,191	1,174
法人税等調整額	171	81
当期純利益	2,252	1,537
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 46	△ 87
親会社株主に帰属する当期純利益	2,299	1,625

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 平成27年3月21日から 平成28年3月20日まで	当期 平成28年3月21日から 平成29年3月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,789	4,224
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,286	△ 2,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,259	△ 769
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 145	△ 18
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 1,901	850
現金及び現金同等物の期首残高	7,281	5,379
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	–	68
現金及び現金同等物の期末残高	5,379	6,298

POINT 1 中央ビルト工業（株）などの株式売却やALINCO RENTAL INDONESIAを連結したことによって減少しました。

POINT 2 為替変動リスクをヘッジするため為替予約を利用しておりますが、円高によって前期の為替差益が為替差損に転じました。

POINT 3 海外のグループ会社について持分法による投資損失を計上しました。

POINT 4 保有していた株式の一部を売却したため、売却益が発生しました。

POINT 5 海外の子会社において減損損失を計上しました。

POINT 6 投資有価証券ならびに関係会社株式の売却による収入などにより、25億86百万円の支出となりました。

会社概要

社名	アルインコ株式会社
英文社名	ALINCO INCORPORATED
本店	大阪府高槻市三島江1丁目1番1号
大阪本社	大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号
東京本社	東京都中央区日本橋2丁目3番4号
創業年月	昭和13年9月
設立年月日	昭和45年7月4日
資本金	63億6,159万円
上場市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5933
従業員数	（連結）1,050名（単体）688名
電話連絡先	06-7636-2222（代表）
URL	http://www.alinco.co.jp

事業内容

- 仮設機材の開発・製造・販売
- 仮設足場の総合レンタルサービス
- オクトシステムの総合レンタルサービス
- 各種DIY関連製品の開発・製造・販売
- アルミ型材の加工・販売
- フィットネス関連製品の開発・販売
- 医療機器の開発・販売
- 無線通信関連機器の開発・製造・販売

役員 （平成29年6月16日現在）

代表取締役会長	井上 雄策	
代表取締役社長	小山 勝弘	
専務取締役	加藤 晴朗	建設機材事業部長兼海外営業・仮設リース事業部担当
常務取締役	家塚 昭年	管理本部長兼施工安全管理室担当
常務取締役	前川 信幸	住宅機器事業部長兼フィットネス事業部担当
取締役	小林 宣夫	経理部長
取締役	楠原 和広	電子事業部長兼電子事業部品質保証部長
取締役	岡本 昌敏	建設機材事業部副事業部長兼建設機材事業部第二営業部長兼建設機材事業部業務部長
取締役	三浦 直行	住宅機器事業部副事業部長兼住宅機器事業部第二営業部長兼住宅機器事業部業務部長
取締役	小嶋 博隆	オクト事業部長兼オクト事業部営業部長
取締役	坂口 豪志	財務部長
社外取締役	梨和 信	
取締役※	岸田 英雄	
社外取締役※	野村 公平	弁護士
社外取締役※	勘場 義明	公認会計士

注）※は監査等委員であります。

執行役員 （平成29年6月16日現在）

執行役員	西岡 俊浩	フィットネス事業部長
執行役員	山本 和弘	建設機材事業部業務部副部長兼建設機材事業部第二営業部東京支店長
執行役員	平 謙二	生産本部長
執行役員	佐倉広太郎	ALINCO SCAFFOLDING (THAILAND) CO., LTD.取締役社長兼アルインコ建設機材レンタル（蘇州）有限公司董事総経理兼SIAM ALINCO CO., LTD.取締役社長
執行役員	松井 正典	ALINCO（THAILAND）CO., LTD.取締役社長

連結子会社

会社名	資本金（出資金）	議決権比率	主要な事業内容
アルインコ富山株式会社	5,000万円	100.0%	電子機器の組立・加工請負
東京仮設ビルト株式会社	2,000万円	100.0%	足場の架払工事請負
株式会社光モール	2,500万円	100.0%	アルミ型材・樹脂モール材の販売
オリエンタル機材株式会社	2,400万円	100.0%	建設用仮設機材の販売・レンタル
株式会社シィップ	3,000万円	73.2%	据置式昇降作業台の製造・販売及びレンタル
エス・ティ・エス株式会社	3,500万円	100.0%	測量機器、レーザー機器等の企画開発・製造ならびに販売
双福鋼器株式会社	8,400万円	51.0%	物流保管設備機器（ラック）・鋼製床材の製造、販売
蘇州アルインコ金属製品有限公司	750万米ドル	100.0%	金属製品及び関連製品の開発・製造ならびに販売
アルインコ建設機材レンタル（蘇州）有限公司	550万米ドル	90.9%	建設用仮設機材の販売・レンタル
ALINCO(THAILAND)CO.,LTD.	6億バーツ	100.0%	建設用仮設機材の製造ならびに販売
ALINCO SCAFFOLDING(THAILAND) CO.,LTD.	2億1,200万バーツ	68.7%	建設用仮設機材の販売・レンタル及び輸出入
SIAM ALINCO CO.,LTD.	200万バーツ	49.0%	投資及び人材派遣
PT. ALINCO RENTAL INDONESIA	820万ドル	100.0%	不動産開発・管理

株式に関する情報

発行可能株式総数	35,200,000株
発行済株式数	21,039,326株
うち自己株式数	528,480株
株主数	6,998名

大株主の状況（上位10名）

平成29年3月20日現在

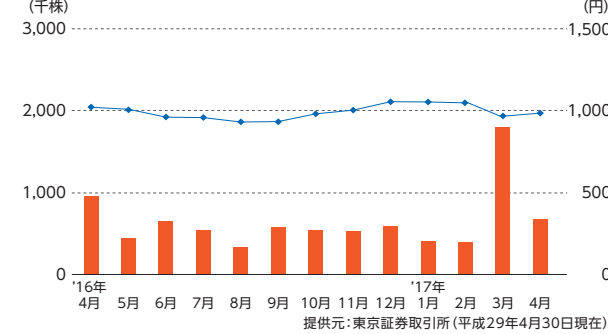
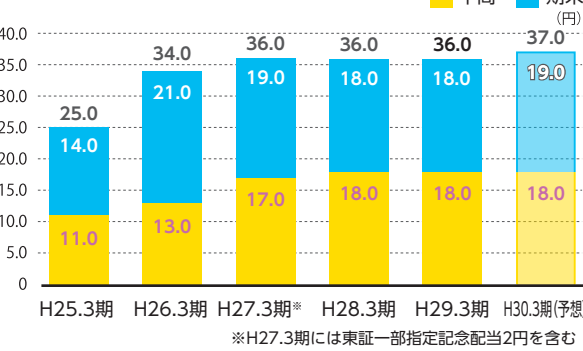
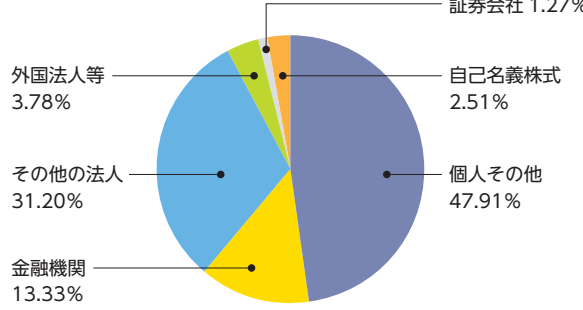
株主名	株式数（千株）	持株比率（%）
アルメイト株式会社	3,153	15.4
アルインコ共栄会	1,288	6.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	606	3.0
井上雄策	591	2.9
井上敬策	574	2.8
アルインコ従業員持株会	541	2.6
株式会社アクトワンヤマイチ	536	2.6
井上商事株式会社	500	2.4
株式会社近畿大阪銀行	451	2.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	332	1.6

（注）1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3. 当社は自己株式528,480株を所有しておりますが、上記の表には含めておりません。

株価動向

提供元：東京証券取引所（平成29年4月30日現在）

1株当たり配当金推移

※H27.3期には東証一部指定記念配当2円を含む

株式分布状況

株主優待について

保有株式数	株主様への株主優待制度	
500株以上1,000株未満	3年未満保有 3年以上継続保有	1,000円分の商品券 2,000円分の商品券
1,000株以上5,000株未満	3年未満保有 3年以上継続保有	2,000円分の商品券 3,000円分の商品券
5,000株以上10,000株未満	3年未満保有 3年以上継続保有	4,000円分の商品券 5,000円分の商品券
10,000株以上	3年未満保有 3年以上継続保有	6,000円分の商品券 8,000円分の商品券

※上記の商品券は「VJAギフトカード」となります。